

筑波大学 人文・文化学群

## 比較文化学類

平成 31 年度

私費外国人留学生 試験問題

### 小論文

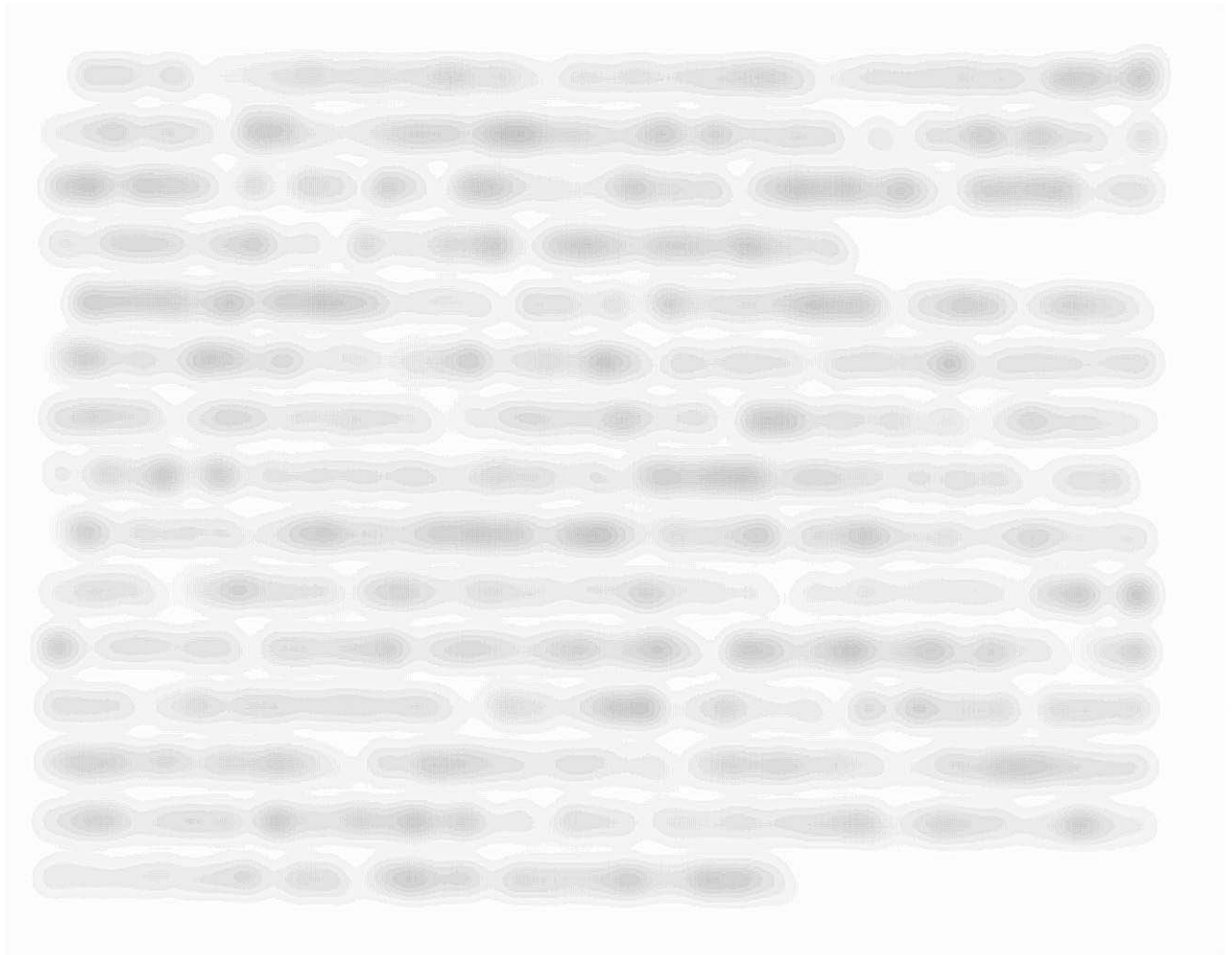
試験時間 10 : 00 ~ 11 : 30 (90 分)

#### 注意事項

1. 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子 1 部と 600 字詰め答案用紙 2 部が配布されていることを確認してください。不備があるときは、手を挙げてください。
3. 答案用紙（白色）と下書き用紙（黄色）を切り離してください。
4. 答案用紙（白色）2 枚に、「学群、学類、氏名、受験番号」を記入してください。下書き用紙（黄色）2 枚には記入する必要はありません。
5. 問題は 2 問あります。問 1 の解答を 1 枚目の答案用紙に、問 2 の解答を 2 枚目の答案用紙に記入してください。問の番号を答案用紙の上部にある横に長い長方形の枠内に記入してください。
6. 解答はかならず答案用紙（白色）に横書きで書いて、提出してください。下書き用紙（黄色）に書いた答案を提出しても受理しません。
7. 質問がある場合や気分が悪くなった場合には、手を挙げてください。
8. 試験終了後、答案用紙（白色）2 枚のみを回収します。問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

以下は、第二次世界大戦後の日本における五つの精神的な転回を論じた文章の一部である。これを読んで、後の問1、問2に日本語で答えなさい。

（以下、文章の本文がぼやけて読み取れないため、正確な内容の転写は不可能である。）



(栗原彬「2000 年以降—ひとびとの精神史の五つの転回」による)

問1 この文章での著者の言う「大事なもの」はどのようなものか。100 字以内で述べなさい。

問2 筆者の議論をふまえつつ、あなたは「公共性」をどのように考えるか、600 字以内で述べなさい。